

「Unit6 A Speech about My Brother」

～言語や文化の異なる他者と、外国語でより良いコミュニケーションを図るにはどのようなことが大切か～

本単元で育成する資質・能力

(学校) 主体性, コミュニケーション能力

- 1 日時 令和4年10月5日(水) 12:55～13:45
- 2 学年 第1学年1組 (男子18名 女子19名 合計37名)
- 3 場所 新館1F 1年1組教室
- 4 単元について

○ 教材観

中学校学習指導要領解説 外国語編の「(4) 話すこと [発表]」の目標には「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」と示されている。これは、話し手として伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開や構成を考えて、それらをメモにするなどして整理し、英語で簡単なスピーチや発表ができることを目指すものである。

本単元は、朝美がスピーチでフィリピンのセブ島にいる兄について紹介し、そのスピーチを聞いた海斗が質問をして、フィリピンの食べ物についてやり取りをする、という場面が示されている。本文で朝美が行っているスピーチをモデルとしながら、スピーチの展開や構成の在り方、情報の整理の仕方について学ぶきっかけとなる教材である。言語材料としては三人称単数現在形の肯定文・否定文・疑問文を取り扱い、生徒自身が他者に伝えたい人やキャラクターについて紹介する言語活動を設定する上で最適な教材である。

○ 生徒観

本学級の生徒は、小学校の外国語授業においてスピーチを経験しており、第6学年時には「将来の夢」についてのスピーチコンテスト等も実施している。本学年の生徒に令和4年8月22日に実施した「話すこと (発表)」に関わるアンケートの結果から、次のような実態が明らかとなった。アンケートの項目は次の通りである。

項目	あてはまる	やや	あまり	あてはまらない
英語の勉強は好きです。	37.5%	36.1%	16.7%	9.7%
英語の授業はよく分かります。	51.4%	36.1%	9.7%	2.8%
英語でスピーチやプレゼンテーションをすることが好きです。	9.7%	20.8%	38.9%	30.6%

3つ目の項目について否定的な回答をした生徒の記述には、「人前で話すのが苦手だから。」「英語で話すときに間違えているかもしれなくて怖いから。」「どうやったらうまく伝えられるか分からないから。」といった理由が見られた。このことから、英語を用いて自分の考えや気持ちを伝える表現の定着が不十分であることや、相手に分かりやすく伝えるための展開や構成についての知識が乏しいことが考えられる。

一方で英語を用いてどんなことができるようになりたいかを問う項目については「外国の人と会話ができるようになりたい。」「自分の伝えたいことを英語でスラスラ言えるようになりたい。」など、英語を用いて話すことについての力量を高めたいという思いが圧倒的に多かった。現時点では英語を用いて話すことに自信が持てていないが、英語を自在に操れるようになりたいという思いは高いこと

が分かった。

○ 指導観

指導には、単元のゴールとして、ALT に知ってもらいたい人やキャラクターについて紹介するスピーチを設定している。小学校で行ったスピーチの経験をいかしつつ、小学校の目標には無い「まとまりのある内容を話すことができるようにする」ということを目指して指導したい。そのために、伝えたい人やキャラクターについての情報を整理する手立てとしてマッピング等の思考ツールを活用し、聞き手により良く伝えるためのスピーチ展開や構成を考えさせる。さらに、後日行うパフォーマンステストに向け、「帯活動」で日常的な話題についての言語活動（Chat 等）に取り組みせ、相手の話の内容を踏まえた質問を投げかけてコミュニケーションを継続させようとする態度を養いたい。

また、本単元で学ぶ三人称単数現在形は小学校での取扱がなく、中学校で初めて触れる言語材料であり、英語の学習を進める上でのつまずきになりやすいものである。自分のことや相手のことについて伝える表現と比較し、一般動詞の形の違いに気付かせるとともに、動詞の活用については、くり返しドリル練習をすることを通して、表現の理解と定着を促したい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力，コミュニケーション能力，主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力, 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
授業の展開の場面で(ミニホワイトボード等を使用して)	レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。
	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。

	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

6 単元目標

○三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解する。

○ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付ける。

○ALT に興味を持ってもらえるように、伝えたい人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す。

○ALT や友達の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT に興味を持ってもらえるように、伝えたい人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT や相手の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。

8 指導計画 (全 10 時間)

教科・領域の本質的な問い

・言語や文化の異なる他者と、外国語でより良いコミュニケーションを図るには、どのようなことが大切か。

過程	時間	学習内容	重点	記録	評価規準	資質・能力 (評価方法)
課題の設定	1	単元の目標を理解する。 「ALT に知ってもらいたい人やキャラクターについての紹介スピーチをしよう。」	態	○	ALT や相手の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。	【主体性】 (ワークシート)

	★小学校で行ったスピーチの学習活動について振り返る。 ★伝えたい情報をメモする（マッピング）					
単元を貫く問い（探究課題の萌芽） ザック先生に知ってもらいたい人やキャラクターについて紹介しよう。						
情報収集	2	三人称単数現在形の肯定文の形・意味・用法を理解する。	知		三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	【コミュニケーション能力】 （活動の観察・ワークシート）
	3	教科書本文を通して、ALT に知ってもらいたい人やキャラクターが普段することについて伝える表現を知る。	知	○	ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。	【主体性】 （活動の観察・スライド）
	4	三人称単数現在形の否定文の形・意味・用法を理解する。	知		三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	【コミュニケーション能力】 （活動の観察・ワークシート）
	5	教科書本文を通して、ALT に知ってもらいたい人やキャラクターが普段することやしないことについて伝える表現を知る。	知	○	ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。	【主体性】 （活動の観察・スライド）
	6	三人称単数現在形の疑問文とその答え方を理解する。	知		三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	【コミュニケーション能力】 （活動の観察・ワークシート）
	7	教科書本文を通して、フィリピンの食べ物について知る。 対話の概要を捉え、その情報に追加してたずねたり答えたりすることができる。	知	○	ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。	【主体性】 （活動の観察・スライド）
	8	友達のスピーチを聞くとき、さらに知りたいことについて質問する方法を知る。 Tool Box ★こんなこと質問したいな…リスト	知		ALT に伝えたい人やキャラクターなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。	【コミュニケーション能力】 （活動の観察・ワークシート）

整理・分析	9	より良いスピーチの仕方について考え、まとまりのある内容になるように構成を考える。	態	○	ALT や相手の立場に立って考え、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。	【主体性】 (ワークシート)
まとめ・創造・表現	10	ペアやグループで紹介したい人やキャラクターについてのスピーチを発表したり、質問をしたりする。【本時】 ★うまく言えなかった表現の確認 ★質問された内容についてさらに情報を加える ★より良く伝える工夫（レベルアップさせるには…）	思	○	ALT に興味を持ってもらえるように、伝えたい人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	【コミュニケーション能力】 (活動の観察・ワークシート)
実行・振り返り	後日	【パフォーマンステスト】 ALT に知ってもらいたい人やキャラクターについての紹介スピーチをする。	思	○	ALT に興味を持ってもらえるように、伝えたい人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	【コミュニケーション能力】 (パフォーマンステスト・振り返りシート)
単元を貫く問いの終結 外国語で身近な人やものなどについて事実や自分の考え、気持ちなどを聞き手に分かりやすく伝えるには、相手の興味関心や文化、立場について考えを巡らせたり、情報を整理して伝える順序を工夫したりすることが大切である。						

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○ペアやグループで ALT に知ってもらいたい人やキャラクターについての紹介スピーチをしたり、質問をし合ったりすることができる。

(2) 本時の評価規準

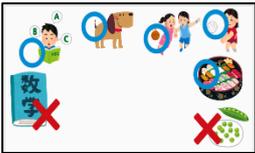
・ALT に興味を持ってもらえるように、伝えたい人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

【思考・判断・表現】

(3) 準備物

・電子黒板, Chrome book, ワークシート

(4) 学習の流れ (10 時間目 / 全 11 時間)

過程	学習活動	指導上の留意事項 (○) 予想される生徒の反応 (・) 支援を要する生徒への手立て (◆)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 課題の把握 [5分]			
導入	<p>○Chat (帯学習)</p> <p>・生徒の身近な人(芸能人や先生など)をテーマとして提示し, その人についてペアやグループで30秒から1分間やり取りをする。</p>  <p>めぐす生徒の姿</p> <p>A: This is our teacher, Ms. Matsubara. She teaches English. B: Yes, she likes English. But she doesn't like math. A: That's right. She doesn't like math! B: Does she like sports? A: Yes, she does. She likes basketball and volleyball. B: Oh, I see. What food does she like? A: She likes sushi. She loves "uni" sushi. B: Really? ...</p> <p>あいづち</p> <p>くり返し</p> <p>質問</p>	<p>◆よく使う表現や前時に学習した Tool Box の表現を視覚的に確認できるよう提示しておく。</p> <p>○本時の言語活動と関連させ</p>	<p>導入の工夫</p>
<p>Task</p> <p>ザック先生に知ってもらいたい人やキャラクターについて紹介しよう。</p> <p>単元を貫く問い</p>			
<p>Today's Goal</p> <p>ペアやグループで発表をしたり質問をし合ったりして, ザック先生へのスピーチをレベルアップさせよう!</p>			
2 課題の探究 [20分]			
展開 前半	<p>○ALT に知ってもらいたい人やキャラクターについてペアやグループで紹介し合う。</p> <p>①スライドを見せながら, ペア(グループ)で発表し合う。</p> <p>②スピーチを聞いていた人は, さらに知りたいことを発表者に質問する。</p> <p>③困り感の共有・改善に向けてのアイデアを交流。</p> <p>(例)・質問してみたいことはあったけど, どう言えば良いか分からなかった。</p> <p>・質問された内容が分からな</p>	<p>○聞き手に分かりやすく伝える工夫を意識させる。</p> <p>ICTの活用</p> <p>◆机間巡視をして, 困っている生徒の支援をする。</p> <p>◆発表・質疑が終わった段階で, 困り感を共有する。言いたかったのに表現方法が分からなかったことや, 聞いたかったのに質問の仕方が分からなかったことについて, 全体で共有し改善する時間を取る。</p>	<p>・ALT に興味を持ってもらえるように, 伝えたい人やキャラクターについて, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。〔思考・判断・表現〕(活動の観察・ワークシート)</p>

	<p>かった。 ・質問への答え方が分からなくて困った。</p> <p>④パートナー（メンバー）を替えて発表し合う。 ⑤ ①～④を繰り返す。</p> 	<p>○改善点が反映されて、より良い発表になるように意識させる。</p>	<p>★コミュニケーション能力（活動の観察・ワークシート）</p>
3 課題の解決 [10分]			
展開後半	<p>○Level Up Time ・スピーチ内容の推敲。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(Level Up のポイント例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スライドの順序を調整 ● 新たな情報を加える (友達に質問された内容など) ● うまく言えなかった表現の確認・練習 </div>	<p>◆レベルアップさせるポイントを視覚的に示す。 (例)・質問された内容についてのスライドを加えよう。 ・伝わりやすい順序にスライドを並べ替えよう。</p>	
4 次の探究に向けて[15分]			
まとめ	<p>○何人かの生徒にスピーチを発表させる。 ○紹介された人・キャラクターについての理解を深めるために、教師が質問をして、発表者とやり取りをする。 ○振り返りを書く。</p>	<p>○発表者の良さを見つけ、自分のスピーチに生かすように促す。 ◆パフォーマンステストのイメージを具体的に思い描けるようなモデルを示す。</p>	
<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価 ○ザック先生が知らないかもしれないことについて、分かりやすく伝えられるように工夫していこうと思う。 ○スピーチでは自分だけが話すのではなく、Do you know～? などと相手に問いかけることもできたら良いと思う。</p> <p>B評価 ○相手にうまく伝わるように、話す内容の順序や展開を工夫したい。 ○アイコンタクトや姿勢、表情で伝わるものもあるから、相手の目を見て話したり、笑顔で発表したりできたら良いと思う。</p>			

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT に知ってもらいたい人について、誤りのない正しい英文を用いてスピーチをすることができる。 ○相手の発表内容について、さらに詳しく知るための質問をしたり、自分の考えや感想を伝えたりすることができる。
B（合格）	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT に知ってもらいたい人について、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いてスピーチをすることができる。 ○相手の発表内容について、さらに詳しく知るための質問をすることができる。
C（乗り越えさせたい実態）	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT に知ってもらいたい人について、スピーチをすることができない。 ○相手の発表内容について質問をすることができない。